

## 二十歳の主張

高橋 茉尋

本日は私達のためにこのような盛大な式典を開催していただき誠にありがとうございます。  
ごぞいます。

生まれ育ったこの西条市でたくさんの友人たちと20歳の集いを迎えることができ大変嬉しく思います。この町で沢山のひとと出会い、学び、遊んだ思い出は今でも私の宝物です。

私は今、その西条市から遠く離れた新居浜市で立派に社会人として働いております。会社では理不尽な説教に耐える精神力、残業だらけの日々を耐える肉体を上げることが出来ました。大学生の皆さん、卒業して勉強から逃れることが出来たとしても地獄が待っています。忘れないでください。

でも、そんな私も社会人になって良かったと思うことがあります。それは親の支えを知ることができたことです。学生時は支えてもらっているのが当たり前だと思っていました。でも社会人になってみて仕事をしながら子供を育てるといことは本当に大変だなと感じました。大変な中、私を立派な人間に育てた親を私は誇りに思います。ですから、これからは私が親を支えられる人間になっていこうと思っています。

最後にはなりますが、皆様とこの節目の日を迎えられましたこと、心より感謝いたします。

そして、皆様本当におめでとうございます。

以上をもちまして、私の二十歳の主張とさせていただきます。